

2017. 4. 3

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2016年 年間回顧

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2016 年年間回顧)

2016 年のわが国の景気は個人消費の停滞が続くなか、円高の進行などで停滞したあと、年末にかけては為替が円安に転じ、資源価格が回復したことで企業業績が上向き緩やかな回復基調を辿った。

化繊景況は婦人服など一般衣料用が消費不振で盛り上がり欠け、自動車などの産業資材用も低調だったため、化繊生産は前年比 5.0%の減となり、5 年連続 100 万トンの割れが続いた。

国 内

- 1) 衣料用は、消費不振が続くなか婦人服用をはじめ全般盛り上りに欠けた。ユニフォームワーキングは在庫の増加で低調だった。保温肌着用は 2015 年シーズンが暖冬だった影響を受け出荷が伸び悩んだ。一方輸出は中東民族衣装向けが数量を維持したが円高で採算が悪化、中国向けアクリル S は同国内の市況悪化や日本品に対するアンチダンピング課税により落ち込んだ。インテリア用は、カーテンでコントラクト需要が堅調だったが、ホームユース用は低位で推移。タイルカーペットはオフィス、ホテル向けが健闘した。衛材・生活資材用は、紙おむつの中国向け輸出の伸び率が鈍化し、インバウンド需要も一服した。スキンケア商品やワイパー向けなどは堅調だったが、貼付剤用は不振。産業資材用は、ポリエステル F 使いのタイヤコード用が高水準の織物および強力糸の輸入が続き、海外調達が殆どを占めた。エアバッグ用は装着部位の拡大やタカタのリコール特需で増加した。カーシート用は合成皮革の浸食でファブリックは苦戦した。土木資材用は低調だったが、建築資材用は首都圏の都市再開発事業などで順調だった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）2.2%減、化繊 4.6%減、紡績 4.3%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が 1.0%増、化繊 1.7%減、紡績 7.3%増となった。（2010 年=100、生産、在庫とも指数ベースの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで 79.4 億ドル・前年比（以下同じ）2.4%減、一方円ベースでは 8,630 億円・12.4%減。形態別（ドルベース）では、繊維原料 10.6 億ドル・33.5%減、糸類 10.7 億ドル・0.1%増、織物類 25.0 億ドル・0.7%増、二次製品他 33.1 億ドル・10.8%増。仕向地別（ドルベース）では、全体の 30.1%を占める中国が 5.0%減の 23.9 億ドル、韓国（1.1%増）、台湾（0.8%減）、香港（1.6%減）、アセアン地域は、ベトナム（12.0%増）、タイ（6.4%増）、インドネシア（3.9%減）、マレーシア（9.8%減）となり、それ以外では米州（3.3%減）、西アジア（0.2%増）、欧州（3.9%減）となった。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 362.9 億ドル・前年比（以下同じ）1.7%減、一方円ベースは 3兆9,368 億円・11.9%減。形態別（ドルベース）では、繊維原料 5.9 億ドル・3.5%減、糸類 12.0 億ドル・4.0%減、織物 13.3 億ドル・2.2%減、二次製品他 331.7 億ドル・1.6%減。仕出地別では、全体の 61.3%を占める中国が 5.7%減の 222.4 億ドル、韓国（0.8%増）、台湾（3.3%減）、アセアン地域は、ベトナム（9.2%増）、インドネシア（0.6%減）、タイ（2.0%増）、マレーシア（7.4%減）、それ以外では、イタリア（4.8%増）、米国（7.9%減）となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2015年比(%)	2014年比(%)
輸出	千ドル	8,775,634	8,135,545	7,941,257	-2.4	-9.5
計	百万円	928,473	985,053	863,019	-12.4	-7.0
繊維原料	千ドル	1,708,932	1,596,854	1,062,267	-33.5	-37.8
糸類	〃	1,199,054	1,069,556	1,070,326	0.1	-10.7
織物類	〃	2,652,949	2,484,748	2,501,932	0.7	-5.7
二次製品他	〃	3,214,698	2,984,388	3,306,731	10.8	2.9
輸入	千ドル	40,284,439	36,928,187	36,294,223	-1.7	-9.9
計	百万円	4,262,757	4,466,757	3,936,784	-11.9	-7.6
繊維原料	千ドル	664,712	610,395	589,132	-3.5	-11.4
糸類	〃	1,387,576	1,250,717	1,200,085	-4.0	-13.5
織物類	〃	1,488,273	1,360,762	1,331,470	-2.2	-10.5
二次製品他	〃	36,743,878	33,706,312	33,173,536	-1.6	-9.7
(うち衣類)	〃	(30,808,302)	(28,238,381)	(27,653,640)	-2.1	-10.2
輸出レート	円/ドル	105.8	121.1	108.7	-10.2	2.7
輸入レート	円/ドル	105.8	121.0	108.5	-10.3	2.5

(出所) 財務省

5) 化繊生産は、91万1,474 トン・前年比（以下同じ）5.0%減と5年連続前年を下回り、100万トン割れが続いた。うちセルロース繊維 16万7,718 トン・2.8%減、合繊 74万3,756 トン・5.5%減。期末在庫は、9万38 トンで 1.9%増、うちセルロース繊維 1万5,989 トン・21.8%増、合繊 4万2,772 トン・1.2%減であった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は、55.4 万トン・前年比（以下同じ）14.4%減。うち、繊維原料 22.8 万トン・29.9%減、糸類 11.8 万トン・0.6%増、織物類（面積ベース）6.12 億㎡・1.8%減、二次製品 10.6 万トン・3.5%増となった。品種別では、レーヨンS 2.7%増、ナイロンF 2.4%増、ポリエステルF 3.1%減、ポリエステルS 13.9%減、アクリルS 10.9%減、織物類（面積ベース）はナイロンF 織物 5.9%減、ポリエステルF 織物 2.3%減、ポリエステルS 織物 0.1%増であった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は、158.1 万トン・前年比 4.1%増。繊維原料 8.8

万トン・27.6%増、糸類 22.5 万トン・0.3%減、織物類（面積ベース）は 6.1 億㎡・5.2%減、二次製品 114.1 万トン・4.0%増、うち衣類 56.4 万トン・1.7%増となった。品種別では、レーヨンS 21.0%増、ナイロンF 5.5%減、ポリエステルF 1.3%増、ポリエステルS 41.9%増、ポリエステル紡績糸 1.7%減、織物類（面積ベース）はポリエステルF 織物 8.0%減、ポリエステルS 織物 6.4%減であった。

化学繊維の主要指標

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2015年比(%)	2014年比(%)
化繊生産	千トン	975.7	959.7	911.5	-5.0	-6.6
セルロース	〃	171.1	172.6	167.7	-2.8	-2.0
合 織	〃	804.6	787.1	743.8	-5.5	-7.6
化繊在庫	〃	88.4	88.4	90.0	1.9	1.9
セルロース	〃	14.6	13.1	16.0	21.8	9.4
合 織	〃	73.8	75.3	74.0	-1.6	0.4
化繊輸出	千トン	648.6	646.3	553.5	-14.4	-14.7
	100万ドル	5,604.9	5,236.0	4,901.6	-6.4	-12.5
	億円	5,933.7	6,338.8	5,332.5	-15.9	-10.1
繊維原料	千トン	325.5	325.6	228.4	-29.9	-29.8
糸 類	〃	119.2	117.0	117.7	0.6	-1.3
織物類	百万㎡	615.9	623.7	612.4	-1.8	-0.6
二次製品	千トン	103.6	102.7	106.2	3.5	2.5
化繊輸入	千トン	1,540.4	1,518.5	1,580.5	4.1	2.6
	100万ドル	18,979.8	17,396.3	17,398.8	0.0	-8.3
	億円	20,144.6	21,048.0	18,819.4	-10.6	-6.6
繊維原料	千トン	64.0	68.8	87.8	27.6	37.2
糸 類	〃	221.3	225.5	224.9	-0.3	1.6
織物類	百万㎡	639.0	639.8	606.5	-5.2	-5.1
二次製品他	千トン	1,127.6	1,096.6	1,140.9	4.0	1.2
(うち衣類)	〃	(580.0)	(555.0)	(564.4)	1.7	-2.7

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合織品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2016年のフィラメントの生産は 12 万 3,860 トン・前年比 3.0%減、12 月末在庫は 1 万 500 トン・前年同月比 11.2%減、織物生産は 3 億 9,143 万㎡・前年比 1.7%減。衣料用は百貨店販売の不振、天候不順などで全般盛り上がりには欠けた。ブラックフォーマルはロードサイドショップ向けが健闘したが、百貨店・専門店向けは低調。中東向け民族衣装「アバヤ」は数量を維持したものの、円高の影響で利益率が低下。裏地はストレッチ機能を付与した機能品が健闘したが、主力の婦人服用の流通在庫過多などで全般は低調だった。競泳用は「オリンピックイヤー効果」を受けて機能品が堅調、ランニング用は消費者がシューズに多く出費する傾向が強く、ブランド

商品化が課題。「ヨガ」用のニットは国内、海外ともに順調。

カーテンは学校、ホテル向けなどのコントラクト需要は順調だったがホームユース向けは低調だった。

タイヤコード用は織物および強力糸の輸入が高水準となり、タイヤコード向け国内ポリエステル繊維消費の殆どが海外からの調達となった。カーシート用は合成皮革の使用が浸透したことでファブリックの苦戦が続いた。土木資材用は公共投資の一巡で低調だったが、建築資材用は耐震化工事や4年後の東京オリンピックを控え、オフィスビル、ホテルの建築が進み堅調に推移した。

フィラメント輸出は1万5,418トンを前年比(以下同じ)3.1%減、香港3,048トン(23.1%増)、タイ2,081トン(5.3%増)、中国2,071トン(21.8%)。

フィラメント輸入は13万2,055トン・1.3%増、台湾4万8,824トン(3.5%減)、タイ2万2,853トン(0.4%増)、中国2万1,209トン(11.0%増)、インドネシア1万5,453トン(1.9%減)、韓国1万2,786トン(1.7%減)。

<ポリエステルS>

2016年のステープルの生産は11万1,367トン・前年比17.0%減、12月末在庫は1万8,444トン・前年同月比5.7%減、紡績糸生産は1万2,481トン・前年比6.0%減。

ユニフォームワーキング向けは備蓄が完了して不振が続いた。中東民族用(トープ)の輸出は数量を確保したものの、円高が進行して採算が悪化した。

製綿は機能品に荷動きが見られたが全般は低調に推移し、製綿業者の廃業が続いた。合繊メーカーの一角が生産を縮小する中、固綿用のバインダー繊維は主に韓国からの輸入品に置き換わった。

衛材用不織布は中国向け紙おむつ・生理用品の製品輸出の伸び率が大幅に鈍化し、インバウンド需要も一服した。生活資材用はワイパー、スキンケア商品、制汗シートなどが堅調に推移したが、貼付剤用は薬価改定に加え、病院での支給枚数の制限を受けて悪化した。車両資材は自動車生産が停滞しているが「樹脂から繊維へ軽量化」の流れを受けて吸音材などで新用途が開発された。湿式不織布は数年前から中国で家庭用浄水器の需要急拡大を背景にRO膜支持体向けの好調が続いた。

ステープル輸出は2万72トンを前年比(以下同じ)13.9%減、中国6,374トン・4.2%増、米国3,774トン・9.9%増、ベルギー2,182トン・24.8%増。

ステープル輸入は5万6,099トン・41.9%増、韓国2万4,014トン・29.9%増、中国1万2,944トン・38.0%増、インドネシア7,332トン・138.1%増。

<ナイロンF>

2016年のフィラメントの生産は8万9,409トン・前年比0.1%減、12月末在庫は1万661トン・前年同月比0.5%減、織物生産は1億1,983万㎡・前年比2.8%減。

パンスト用は「メイドインジャパン」としてインバウンドの間で人気が高く、需要を下支えする中、「プレーンタイプ堅調、柄物不振」の状況が続いた。ハイテンショ

ニット用は今年に入り在庫調整が進み一時回復したが、その後は鈍化した。ウインター・アウトドアなどの高密度織物の輸出は円高で利益率が低下、米国が減速、欧州や韓国は盛り上りに欠けた。タイヤコード用はキャッププライ向けが安定した出荷が続く、オフロード車向けでは重機用が低調のもの中国向け農機具のタイヤが堅調だった。エアバッグ用は世界的な装着部位の拡大、中国で小型車減税を背景に自動車販売が伸び、また国内ではタカタの「リコール特需」が発生したため増加した。カーペット用は主力のタイルカーペットは一服したが、今後インバウンド用ホテルや大型商業施設向けに期待したい。車両用は自動車生産の停滞やPP製の浸食により低位で推移した。

フィラメント輸出は3万9,465トン・前年比（以下同じ）2.4%増、タイ1万4,983トン（5.8%増）、中国7,598トン（2.4%増）、フィリピン6,872トン（4.5%増）。

フィラメント輸入は3万1,956トン・5.5%減、台湾7,720トン（12.6%減）、米国7,484トン（6.1%減）、中国4,862トン（7.3%増）、韓国3,961トン（2.2%増）。

<アクリルS>

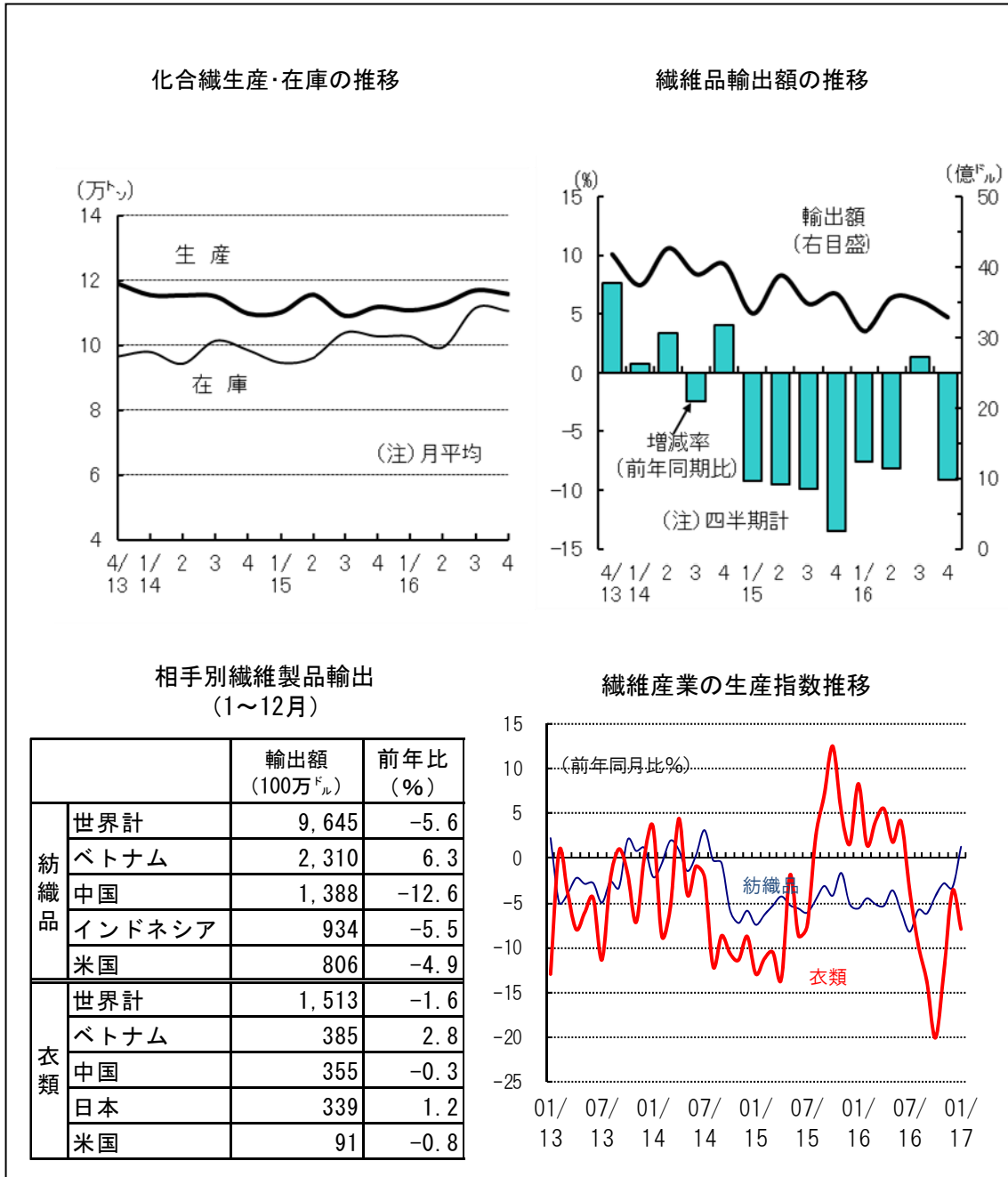
2016年のステープルの生産は12万7,116トン・前年比10.2%減、12月末在庫は1万2,608トン・前年同月比13.8%増、紡績糸生産は7,800トン・前年比4.7%減。

2016年向け保温肌着用のステープルの出荷は、15年シーズンが暖冬で店頭販売が低調だった影響を受けて盛り上りに欠けた。大手SPA向けが比較的順調だったものの、GMS（総合スーパー）のPB商品向けが不振。靴下用は大手SPAが靴下売り場を縮小したことや大手問屋が生産キャパを縮小したため落ち込んだ。

毛布用は大手寝具問屋が「450周年キャンペーン」を展開したが、国産アクリルには恩恵がなく不振が続いた。カーペット関係も長繊維化が進むなか不振が続き、水回り品にプリントしたものやバルキー性が求められるものが少し残る程度になった。ステープルの輸出は最大仕向地の中国が5万1,989トン・前年比（以下同じ）31.9%の大幅減、主力のフェイクファー向けが中国国内で生産過剰により流通在庫が増加する中、日本メーカー3社対して4月2日からAD暫定課税、7月14日からは15.8%～16.1%のAD課税が正式に決定されて落ち込んだ。

中国以外ではインドネシアは9,851トン・5.7%増、イラン5,887トンで4年ぶりに復活、インド2,304トン・44.3%減、ベトナム2,739トン・19.2%増。

(7) 韓国



・概況

2016年は、韓国の繊維産業は引続き厳しい環境であった。化纤生産は5年ぶりの増産となったものの、繊維品輸出は続落した。

・合織生産

合織生産は前年比 2.1%増の 136.8 万ト、5 年ぶりに前年実績を上回った。

主要合織の生産をみると、主力のポリエステル F は 0.5%増の 62.5 万ト、ナイロン F は 5.3%減の 10.1 万ト、ポリエステル S は、堅調な短繊維輸出もあり、3.9%増の 58.9 万ト、アクリル S は 21.1%増の 5.3 万トとなった。年末在庫は前年末比 5.7%増の 10.7 万トとなった。

主要合織の生産高

(1000 ト、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
ナイロン F	132	128	115	107	101	-5.3
ポリエステル F	763	742	659	622	625	0.5
ポリエステル S	530	533	543	567	589	3.9
アクリル S	47	55	50	44	53	21.1
合織合計	1,472	1,458	1,367	1,340	1,368	2.1

・合織生産能力

合織の 2016 年末設備能力は日産 4,984 トとなり、前年比で 2 ト減少のほぼ横ばいであった。品種別には、ナイロン F が 39 ト、ポリエステル F が 158 ト減少した一方、ポリエステル S が 195 ト増加した。

稼働率は合織平均で 75.2%と前年より 1.6 ポイント上昇した。

主要合織の生産能力（年末値）

(日産ト)

	2012	2013	2014	2015	2016	増減
ナイロン F	595	611	608	608	569	-39
ポリエステル F	2,387	2,430	2,430	2,376	2,218	-158
ポリエステル S	1,637	1,622	1,622	1,822	2,017	195
アクリル S	160	180	180	180	180	0
合織合計	4,779	4,843	4,840	4,986	4,984	-2

主要合織の稼働率

(%)

	ナイロン F	ポリエステル F	ポリエステル S	アクリル S	合織計
2015.1~12	47.9	71.8	85.3	66.5	73.6
2016.1~12	48.7	77.3	80.0	80.5	75.2

・輸 出

繊維品輸出は前年比 5.5%減の 134.6 億ドル、3 年連続で前年実績を下回った。全ての段階で減少しており、繊維原料は 7.4%減の 14.2 億ドル、糸類は 9.8%減の 13.0 億ドル、織物類は 9.4%減の 29.9 億ドル、衣類は 3.1%減の 20.5 億ドル、その他二次製品は 2.6%減の 57.0 億ドルとなった。

仕向地別に繊維品輸出をみると、紡織品は、最大のベトナム向けは6.3%増と好調であったが、第2位の中国向けは12.6%の大幅減となった。衣類は、ベトナム向けは2.8%増となったが、中国向け、米国向けが微減となった。

繊維品輸出実績

(100万ドル、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
繊維原料	1,762	1,835	1,805	1,538	1,423	-7.4
糸類	1,746	1,715	1,632	1,446	1,304	-9.8
織物類	3,648	3,622	3,648	3,295	2,986	-9.4
衣類	1,907	2,095	2,233	2,112	2,046	-3.1
その他二次製品	6,542	6,671	6,581	5,851	5,699	-2.6
ニット生地	4,070	4,088	3,931	3,516	3,385	-3.7
繊維品合計	15,604	15,939	15,899	14,241	13,458	-5.5

・輸 入

繊維品輸入は前年比0.3%減の145.2億ドルとなった。その結果、前年に引き続き韓国の繊維品貿易バランスは入超となった。

段階別にみると、繊維原料は9.1%減の9.4億ドル、糸類は2.8%減の18.5億ドル、織物類は4.1%減の12.2億ドルと減少したが、衣類は1.5%増の86.5億ドル、その他二次製品は1.6%増の18.5億ドルとともに微増となった。

仕出地別にみると、中国からの輸入は前年比2.9%減の60.6億ドルと続落、シェアは41.7%と前年より1.1ポイント下落した。第2位のベトナムは10.4%増の30.6億ドル、シェアは21.1%と前年より2.1ポイント上昇した。

繊維品輸入実績

(100万ドル、%)

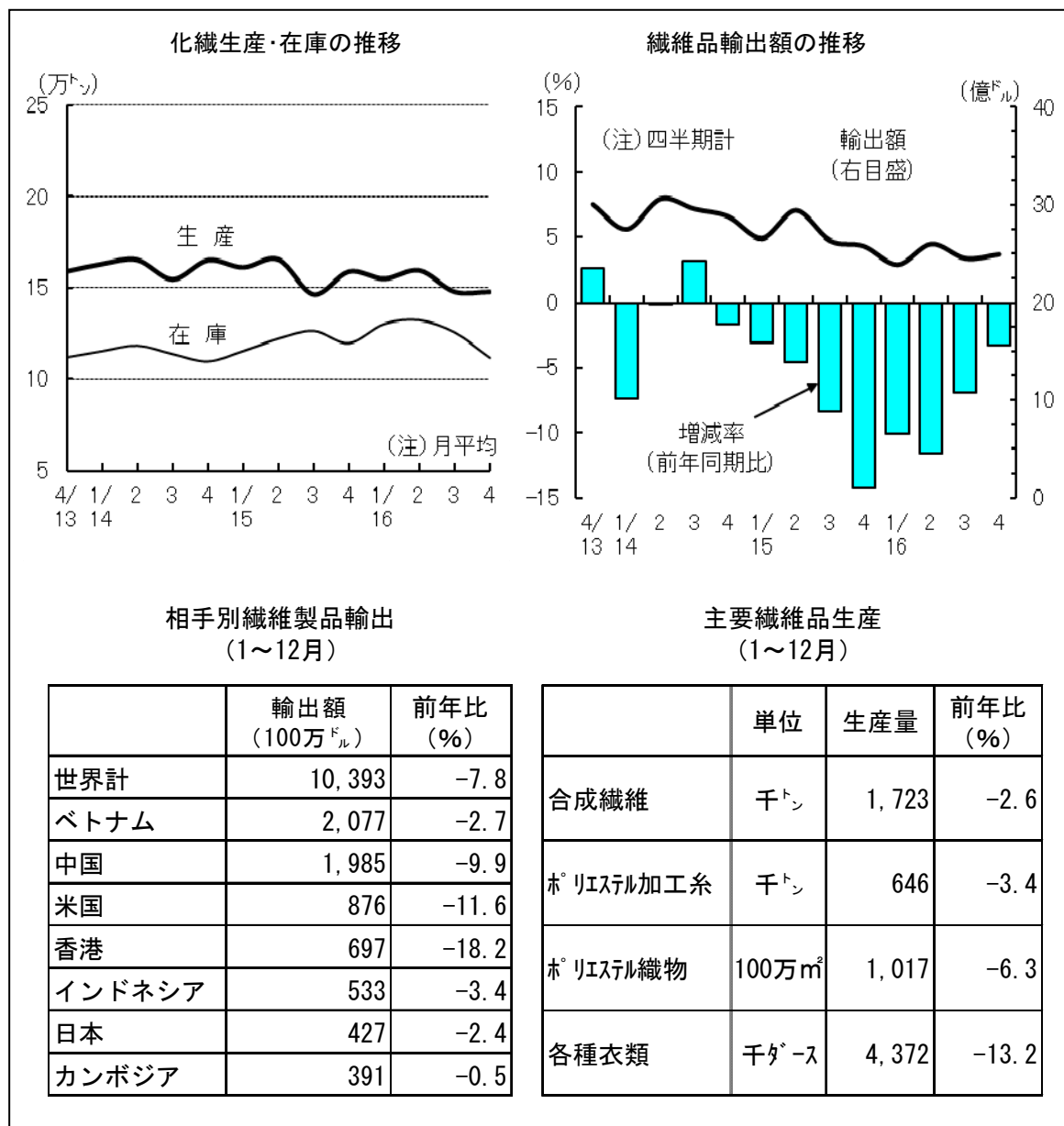
	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
繊維原料	1,318	1,203	1,135	1,038	943	-9.1
糸類	1,943	2,120	2,081	1,904	1,850	-2.8
織物類	1,333	1,317	1,306	1,275	1,223	-4.1
衣類	6,273	7,541	8,484	8,520	8,646	1.5
その他二次製品	1,474	1,637	1,819	1,823	1,853	1.6
繊維品合計	12,342	13,818	14,824	14,560	14,515	-0.3

繊維品仕出地別輸入実績

(100万ドル、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
全世界	12,342	13,818	14,824	14,560	14,515	-0.3
中国	5,717	6,199	6,421	6,237	6,056	-2.9
ベトナム	1,636	2,247	2,699	2,770	3,057	10.4
インドネシア	643	746	763	749	773	3.2
イタリア	474	524	592	616	648	5.2
日本	452	428	463	433	459	6.2

(8) 台湾



・概況

2016年の台湾の繊維産業は、化合繊生産、繊維品輸出とも前年実績割れとなり、繊維産業全体の規模縮小が続いた。

・化繊生産

2016年の化合繊生産は前年比4.4%減の183.0万トン、3年連続の前年実績割れとなった。主要品種別にみると、ナイロンFは7.2%減の27.2万トン、ポリエステルFは6.8%

減の 86.1 万トン、ポリエステル S は 3.4%増の 53.2 万トン、アクリル S は 1.6%増の 5.8 万トンとなった。

主要化合繊の生産高

(1000 トン、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
ナイロン F	319	316	309	292	272	-7.2
ポリエステル F	922	923	919	924	861	-6.8
ポリエステル S	555	538	529	515	532	3.4
アクリル S	68	68	62	57	58	1.6
化合繊合計	1,963	1,965	1,945	1,915	1,830	-4.4

・設 備

2016 年末の主要化合繊の設備は前年末の水準と比べ 290 トン減の 7,138 トンとなった。品種別にみると、ナイロン F で 238 トン、ポリエステル S で 75 トン減少した一方で、ポリエステル F は 23 トン増加した。

稼働率は、化合繊全体では 70.2%と前年より 4.6 ポイント下落した。ポリエステル F が 5.6 ポイント下落した。

主要化合繊の生産能力（年末値）

(日産トン)

	2012	2013	2014	2015	2016	増減
ナイロン F	1,348	1,393	1,311	1,253	1,015	-238
ポリエステル F	3,505	3,545	3,433	3,394	3,417	23
ポリエステル S	2,032	2,036	2,017	2,047	1,972	-75
アクリル S	300	300	270	270	270	0
化合繊合計	7,675	7,764	7,521	7,428	7,138	-290

主要化合繊の稼働率

(%)

	ナイロン F	ポリエステル F	ポリエステル S	アクリル S	化合繊合計
2015.1~12	63.8	74.6	68.9	57.8	74.8
2016.1~12	73.3	69.0	74.0	58.7	70.2

・輸 出

繊維品輸出は前年比 7.8%減の 103.9 億ドルと 4 年連続で前年実績を下回った。段階別にみると、全ての段階で減少した。繊維原料は 5.5%減の 9.7 億ドル、糸類は 10.0%減の 13.7 億ドル、織物類は 8.8%減の 24.5 億ドル、衣類は 14.2%減の 6.7 億ドル、その他二次製品（ニット生地、不織布、産業資材、家庭用品等）は 8.0%減の 49.3 億ドルとなった。

繊維製品輸出を主要仕向地別にみると、第 1 位のベトナムは 2.7%減の 20.8 億ドルと

なった。第2位の中国は9.9%減と続落、第3位の米国向けは11.6%減、第4位の香港は18.2%減とともに2桁減となった。

繊維品輸出実績

(100万^{ドル}、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
繊維原料	1,332	1,283	1,255	1,024	968	-5.5
糸類	2,158	2,040	1,905	1,525	1,373	-10.0
織物類	3,035	2,913	2,942	2,691	2,453	-8.8
衣類	895	842	819	776	665	-14.2
その他二次製品	4,914	5,105	5,166	5,257	4,934	-6.1
ニット生地	2,450	2,620	2,673	2,806	2,582	-8.0
繊維品計	12,335	12,183	12,086	11,273	10,393	-7.8

・輸 入

繊維品輸入は前年比2.8%減の35.2億^{ドル}となった。段階別にみると、繊維原料は14.0%減、糸類は15.3%減とともに大幅減、織物は5.7%減となったが、衣類は1.4%増となった。

仕向地別にみると、最大の中国から輸入は4.2%減の14.9億^{ドル}、シェアは42.2%、前年比0.6ポイント下落となった。第2位のベトナムからの輸入は1.7%増の3.8億^{ドル}、シェアは10.7%と前年比0.5ポイント上昇した。

繊維品輸入実績

(100万^{ドル}、%)

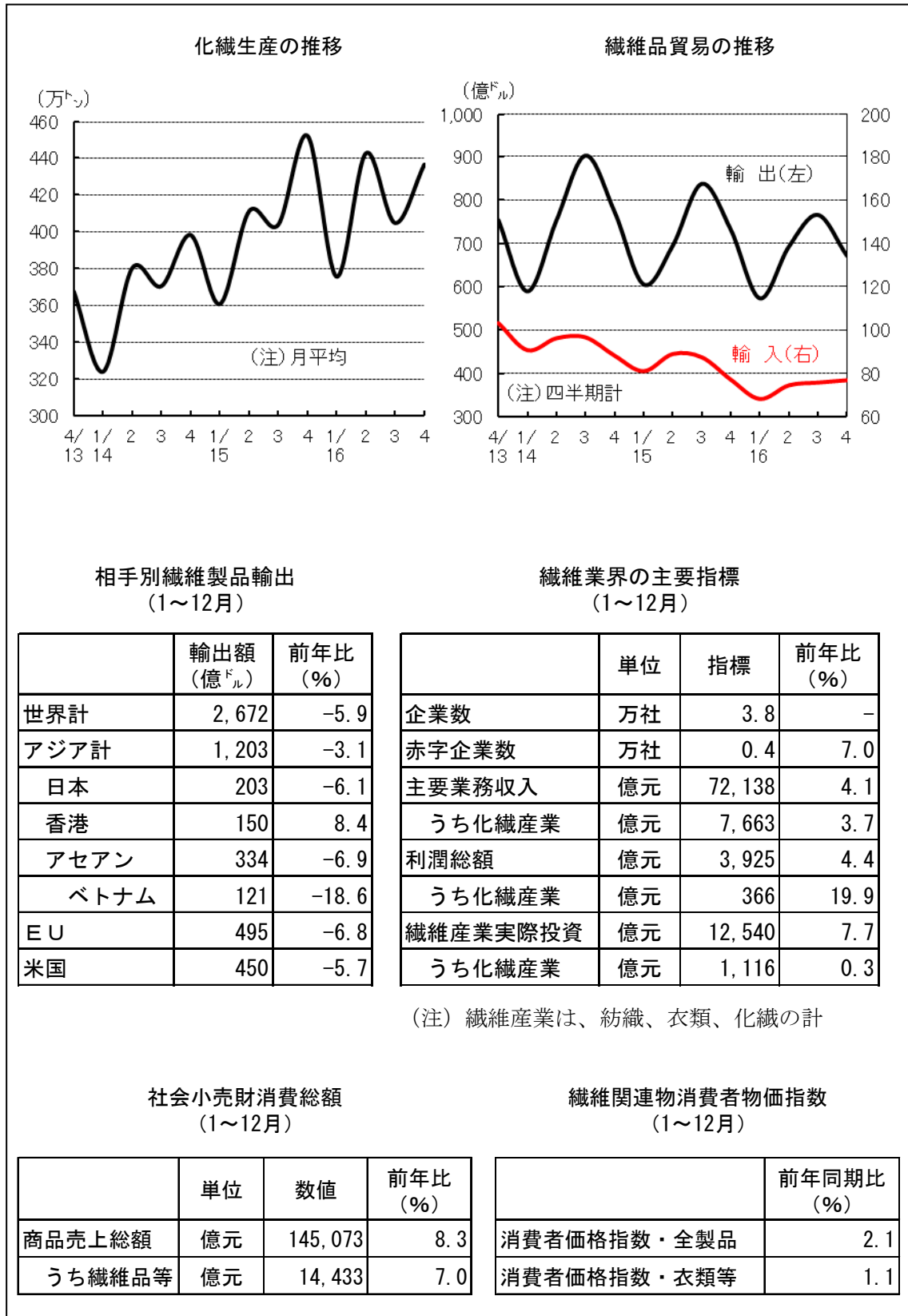
	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
繊維原料	689	670	612	505	434	-14.0
糸類	393	425	397	402	341	-15.3
織物類	227	210	235	209	197	-5.7
衣類	1,628	1,596	1,746	1,916	1,943	1.4
その他二次製品	559	557	607	588	605	2.8
繊維品計	3,496	3,459	3,597	3,620	3,520	-2.8

繊維品仕出地別輸入実績

(100万^{ドル}、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
全世界	3,496	3,459	3,597	3,620	3,520	-2.8
中国	1,234	1,341	1,524	1,550	1,486	-4.2
ベトナム	298	273	300	370	376	1.7
米国	261	240	228	228	234	2.8
日本	308	265	251	227	226	-0.4
インドネシア	170	142	152	161	144	-10.4

9) 中国



・概 況

2016年の中国の繊維産業は、一部指標では鈍化がみられたが、全般的には、生産、内需等は堅調に推移した。一方で、繊維品輸出は前年に続き減少となった。

2016年の繊維産業の主要指標は、主要業務収入は4.1%増、利潤総額は4.4%増と堅調であった。繊維産業の投資は7.7%増と前年までの2桁の伸びから大幅に鈍化した。特に構造調整を進めている化繊産業の投資が0.3%増とほぼ横ばいまで鈍化した。

・生産動向

主要な繊維品生産をみると、化合繊は3.8%増、紡績糸は3.5%増、織物は2.7%増といずれも1ケタ前半の低い伸びにとどまった。一方、産業用繊維製品の生産は引続き好調であった。2016年1-11月の不織布生産は前年同期比29.7%増の523.3万トンであった。

主要繊維品の生産動向

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比(%)
化合繊 (1000トン)	38,374	41,338	43,307	47,627	49,437	3.8
合繊 (1000トン)	34,441	37,315	40,439	43,829	45,363	3.5
紡績糸 (1000トン)	29,840	36,113	38,658	39,029	40,395	3.5
織物 (億m)	849	683	689	696	715	2.7
衣類 (億点)	267	-	-	-	-	-

化学繊維の品種別生産動向

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比(%)
レーヨン	3,480	3,904	3,313	3,463	3,569	3.3
ナイロン	1,815	2,113	2,357	2,771	3,399	13.5
ポリエステル	30,570	33,406	32,177	36,608	39,834	0.7
アクリル	694	694	629	674	718	-1.5
ポリプロピレン	369	264	263	260	271	4.4
ポリウレタン	308	390	484	513	531	3.8
化合繊合計	37,922	41,219	43,307	47,545	49,437	4.0

*2016年は1-11月実績より推定、前年比は原文ママ。

繊維関連内需をみると、衣料用内需は引続き堅調に推移した。2015年の繊維品に関する社会小売消費総額は前年同期比9.8%増となった。

・輸 出

繊維品輸出は前年比7.3%減の2,659億ドル、6年ぶりの減少となった前年に続く前年実績割れとなった。段階別にみると、繊維原料は2.6%減の31億ドル、紡織品は4.0%減の1,046億ドル、衣類等二次製品は9.4%減の1,582億ドルと、全段階で減少した。

繊維製品輸出を仕向地別にみると、アジア向けは3.1%減、日本向けは6.1%減と減

少が続いている。最大の仕向地である EU 向けは 6.8%減、米国向けは 5.7%減とともに減少した。

主要化合繊ファイバー輸出量は 15.1%増の 396 万トンの大幅増となった。品目別にはポリエステル F は 17.0%増の 200 万トン、同 S は 6.5%増の 102 万トンとなり、ポリエステル輸出が化合繊輸出全体の 4 分の 3 を占めている。

繊維品輸出実績

(100 万ドル、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比(%)
繊維原料	3,220	3,162	3,441	3,168	3,086	-2.6
紡織品	95,459	106,590	111,633	108,957	104,599	-4.0
衣類	159,619	177,450	186,571	174,589	158,178	-9.4
繊維品計	258,298	287,202	301,767	286,850	265,863	-7.3

主要化合繊ファイバー輸出実績

(1000 トン、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比(%)
化合繊計	2,507	2,704	3,284	3,440	3,960	15.1
ナイロン F	147	156	176	186	222	19.1
ポリエステル F	1,095	1,308	1,593	1,712	2,003	17.0
ポリエステル S	671	734	891	958	1,020	6.5
レーヨン S	265	175	258	216	311	43.6

主要化合繊ファイバー相手別輸出実績

(1000 トン、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
全世界	2,507	2,704	3,284	3,440	3,960	15.1
トルコ	320	288	336	355	424	19.6
米国	259	271	316	371	383	3.0
パキスタン	255	262	320	344	353	2.7
ベトナム	159	200	237	265	306	15.5
インドネシア	154	133	202	187	276	47.5

・輸 入

繊維品輸入は前年比 12.2%減の 294 億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は 21.1%減の 63 億ドルの大幅減となった。紡織品は 12.2%減の 167 億ドル、衣類等二次製品は 1.9%減の 64 億ドルと増加した。

繊維品輸入を相手別にみると、中国企業の進出が多いベトナムからの輸入が前年比 17.9%増となり最大の仕出地となった。

2016 年の綿花輸入は 35.5%減の 101 万トン（金額ベースでは 37.2%減）の大幅減、輸入量は 2012 年の 5 分の 1 水準まで減少した。

繊維品輸入実績

(100万^{ドル}、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比(%)
繊維原料	17,650	14,650	10,744	7,949	6,272	-21.1
紡織品	19,804	21,567	20,246	18,966	16,652	-12.2
衣類	4,523	5,322	6,163	6,568	6,443	-1.9
繊維品計	41,977	41,540	37,178	33,447	29,367	-12.2

繊維品の仕出地別輸入実績

(100万^{ドル}、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
全世界	41,827	41,365	36,992	33,290	29,375	-11.8
ベトナム	1,116	1,570	2,165	2,546	3,003	17.9
中国	3,642	3,934	3,561	3,218	2,667	-17.1
日本	3,971	3,585	3,294	2,854	2,642	-7.4
台湾	3,326	3,385	3,207	2,883	2,592	-10.1
豪州	3,843	3,677	2,624	2,054	2,025	-1.4

*繊維品の内容は上表と微妙に異なる。

中国の綿花輸入実績

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
数量 (1,000 ^{ドル})	5,245	4,347	2,542	1,561	1,006	-35.5
金額 (100万 ^{ドル})	11,919	8,655	5,102	2,655	1,667	-37.2

合繊輸入は、アクリルSが横ばいであったのを除き減少した。ナイロンFは15.8%減、ポリエステルFは1.2%減、同Sは4.3%減となった。

合繊原料輸入は、EGは3.8%増と増加したが、国内で新增設が続いたPTAは35.4%減の75万^{トン}となった。

主要合繊輸入を仕出地別にみると、合繊4品種とも依然として日韓台からの輸入が全体の6割を占めている。

主要化合繊ファイバー・合繊原料の輸入実績

(1000^{トン}、%)

	2012	2013	2014	2015	2016	前年比(%)
ナイロンF	174	172	153	128	124	-3.8
ポリエステルF	126	117	112	111	124	12.3
ポリエステルS	112	128	133	127	124	-2.5
アクリルS	187	212	159	159	138	-12.8
EG	7,965	8,246	8,450	8,772	7,573	-13.7
PTA	5,370	2,743	1,164	752	502	-33.2
CPL	707	453	223	224	221	-1.2

10) 米 国

・概 況

2016年の米国の合繊生産は前年比1.9%増の290.9万トと3年ぶりに増加に転じた。主要品種のナイロンF、ポリエステルFはいずれもカーペット用が増加したが、紡織用が減少した。繊維産業の生産指数は、紡織工業（生地や染色加工など）が0.7%低下、紡織製品（カーペットなどインテリア用途など）が3.2%上昇、衣類が8.1%低下した。繊維製品輸入は最大仕出国の中国が10.8%減と2桁減となり、全体で前年比6.4%減の1,047億ドルと4年ぶりに前年割れとなった。衣料輸入全体に占める中国の割合は34.6%と前年の35.8%から1.2ポイント低下した。

・合繊生産

合繊生産を主要品種別にみると、ナイロンFは主力のカーペット用が0.6%増の44.4万トとなるなど全体で0.7%増の53.3万トと2年ぶりに増加した。産資用は2桁減となった前年の反動から7.5%増の6.5万トと増加したが、一昨年の7万ト台には届かなかった。紡織用は12.2%減の2.3万トと2桁減が継続。ポリエステルFは0.6%減の64.6万ト。カーペット用が3.0%増の40.9万トと増加が続いたものの、紡織用が6.6%減の16.7万ト、産資用が5.3%減の7.0万トといずれも減少した。ポリエステルSは0.5%増の63.5万ト。国内向け出荷は不織布用、カーペット用ともに増加した。オレフィンFはFが2.8%増の92.6万ト、同Sが18.5%増の16.9万ト。オレフィンFの国内向け出荷は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが前年比4.1%増、マルチフィラメントは5.5%減であった。

主要品種別合繊生産

(1000ト)

	2015	2016	前年比(%)
ナイロンF	528.8	532.7	0.7
産資用	60.7	65.2	7.5
カーペット用	441.7	444.2	0.6
紡織用	26.5	23.3	-12.2
ポリエステルF	649.8	646.1	-0.6
産資用	74.3	70.3	-5.3
カーペット用	397.3	409.3	3.0
紡織用	178.2	166.5	-6.6
ポリエステルS	632.6	635.4	0.5
オレフィンF	900.5	925.5	2.8
オレフィンS	143.0	169.4	18.5
合繊計	2,854.7	2,909.2	1.9

(出所) Fiber Review

・ 紡織生産

紡織工業の生産は、生産指数が前年比 0.7%低下した。内訳で見ると糸・縫糸と生地が横ばい、染色加工が3.0%の低下となった。

紡織製品の生産指数は3.2%上昇した。インテリア製品は、カーペット用等が2.6%低下し、3年連続での低下となった。衣料は8.1%低下した。

紡織・衣料工業の生産指数推移

(2012=100、%)

業種	2012	2013	2014	2015	2016	前年比
鉱工業	100.0	101.9	104.9	105.2	104.2	-1.0
紡織工業	100.0	104.3	103.1	103.1	102.4	-0.7
糸・縫糸	100.0	104.6	105.0	108.2	107.8	-0.3
生地	100.0	102.8	100.1	99.5	99.7	0.2
染色加工	100.0	107.5	108.4	107.4	104.2	-3.0
紡織製品	100.0	102.7	106.7	106.5	109.9	3.2
紡織インテリア製品	100.0	100.7	99.7	98.6	98.1	-0.6
カーペット等	100.0	102.5	99.7	95.8	93.3	-2.6
その他紡織製品	100.0	104.9	114.0	114.7	122.4	6.7
衣料	100.0	92.6	90.9	91.0	83.6	-8.1

(出所) 米連邦準備制度理事会

・ 輸 入

2016年の繊維製品輸入は前年比6.4%減の1,047億ドルと4年ぶりに前年割れとなった。仕出地別にみると、全体の4割近くを占める中国が10.8%減と2桁の大幅減少となったほか、インド(0.7%減)、バングラデシュ(2.0%減)、インドネシア(5.3%減)と主要仕出国はいずれも減少した。第2位の仕出国であるベトナムは0.3%増と横ばいであった

衣類輸入は5.2%減の807億ドル。ベトナムは2.3%増と増加が継続したものの、最大仕出国の中国が2.3%減となったほか、バングラデシュが1.8%減、インドネシアが4.7%減、インドが0.7%減と減少した

中国の衣料輸入全体に占める割合は34.6%と、前年の35.8%から1.2ポイント低下した。

繊維製品輸入実績

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2015年	2016年	前年比(%)	仕出地	2015年	2016年	前年比(%)
中国	43,219	38,533	-10.8	中国	30,541	27,922	-8.6
ベトナム	11,290	11,323	0.3	ベトナム	10,564	10,808	2.3
インド	7,270	7,223	-0.7	バングラデシュ	5,401	5,306	-1.8
バングラデシュ	5,602	5,492	-2.0	インドネシア	4,938	4,706	-4.7
インドネシア	5,181	4,904	-5.3	インド	3,665	3,640	-0.7
世界	111,928	104,723	-6.4	世界	85,165	80,714	-5.2

(出所) 米商務省

11) 欧州

・概況

2016年の欧州の合繊生産はナイロンF、ポリエステルFともに産資用が増加したが、紡織用ポリエステルFは減少が継続した。

域内の生産活動は紡織工業が前年比1.5%上昇、衣料工業が2.7%低下となった。

EU28の繊維製品輸入（域外輸入）は前年比0.3%増の1,158億ユーロとほぼ横ばい。最大仕出国の中国が5.4%減と減少したが、バングラデシュ、トルコ、ASEANなどが増加した。

・合繊生産

合繊生産は、産資用はナイロンFが前年比2.7%増の10.8万ト、同ポリエステルFは2.3%増の14.0万トといずれも増加した。一方、紡織用ポリエステルFが4.9%減の19.1万トと減少した。ポリエステルSは3.5%増の67.4万トと4年ぶりに増加に転じた。

主要合繊の生産高

(1000ト、%)

	2013	2014	2015	2016	前年比
産資用ナイロンF	108.6	110.8	104.7	107.6	2.7
紡織用ポリエステルF	235.1	233.7	200.8	190.9	-4.9
産資用ポリエステルF*	130.4	133.8	136.7	139.8	2.3
ポリエステルS*	677.0	662.9	651.6	674.1	3.5

(出所) CIRFS

(注)その他の品種は未発表。*ベラルーンを含む。

・紡織・衣料生産

2016年のEU28の紡織工業の生産指数は前年比1.5%上昇した。国別で見ると、前年の反動から英国が9.3%上昇したほかドイツが上昇、イタリアが横ばい、フランスは低下した。

衣料工業の生産指数はEU28全体が2.7%の低下。紡織工業と異なり英国が16.3%の大幅低下、イタリアも低下したが、ドイツは横ばい、フランスは上昇した。

紡織・衣料工業の生産指数の推移

(2010=100、%)

	紡織工業				衣料工業			
	2014	2015	2016	前年比	2014	2015	2016	前年比
EU28	95.2	95.3	96.7	1.5	86.8	85.2	82.9	-2.7
ドイツ	96.0	97.3	98.9	1.6	91.8	86.5	86.5	0.0
フランス	100.4	103.2	99.8	-3.3	89.6	82.4	82.9	0.6
イタリア	88.7	85.7	85.5	-0.2	75.6	76.9	72.8	-5.3
英国	83.8	75.6	82.6	9.3	95.2	103.4	86.5	-16.3

(出所) Eurostat

・輸 入

2015年のEU28の繊維製品輸入（域外輸入）は、前年比0.3%増の1,158億ユーロであった。

仕出地別にみると、最大仕出国の中国が5.4%減の397億ユーロと減少したものの、バングラデシュが8.2%増の153億ユーロと増加が継続し、欧州と地理的に近いトルコ（1.3%増、146億ユーロ）を上回る第2位の仕出国となった。またASEANも7.0%増の120億ユーロと増加が継続し、2年連続で100億ユーロを上回った。ASEANの中では低コスト国のベトナム（6.6%増、35億ユーロ）やカンボジア（14.3%増、34億ユーロ）の増加が依然顕著であるのに対し、インドネシア、マレーシア、タイなどは前年割れとなった。

最大仕出国である中国の域外輸入全体に占める割合は2015年の36.4%から34.3%に低下した。

EU28の繊維製品輸入（域外輸入）

(100万ユーロ、%)

国・地域	2014	2015	2016	前年比
世界計	105,354	115,415	115,754	0.3
中国	39,325	41,994	39,736	-5.4
バングラデシュ	11,483	14,128	15,292	8.2
トルコ	13,940	14,411	14,604	1.3
ASEAN	9,329	11,192	11,977	7.0
ベトナム	2,641	3,274	3,488	6.6
カンボジア	2,261	2,980	3,406	14.3
インドネシア	1,734	1,801	1,764	-2.1
マレーシア	980	1,193	1,155	-3.2
タイ	1,090	1,078	1,023	-5.0
インド	7,677	8,310	8,324	0.2
モロッコ	2,517	2,558	2,804	9.6
チュニジア	2,376	2,305	2,268	-1.6
米国	1,676	1,991	1,878	-5.7
スイス	1,536	1,632	1,640	0.4
韓国	1,194	1,269	1,228	-3.3
エジプト	888	926	879	-5.0
日本	678	732	821	12.1

(出所) Eurostat

合繊4品種需要実績(2016年10～12月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2016年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	23,839	104.4	96.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	39,020	101.8	99.3
	計 (輸入)	62,859 (34,378)	102.8 (104.7)	98.0 (99.1)
輸出 (原糸、加工糸)		1,824	92.8	93.6
需要計		64,683	102.5	97.9
在庫		10,500	97.5	88.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2016年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む。)	4,844	99.2	78.4
	非紡績用 (加工品輸出用含む。)	35,033	97.2	91.7
	計 (輸入)	39,878 (16,427)	104.3 (113.6)	97.4 (131.1)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		2,449	84.7	88.6
需要計		42,326	102.9	96.8
在庫		18,444	87.2	94.3

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2016年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,680	103.3	104.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	17,430	99.1	94.5
	計 (輸入)	23,110 (8,358)	100.1 (102.1)	96.7 (94.6)
輸出 (原糸、加工糸)		7,577	100.4	108.5
需要計		30,687	100.2	99.4
在庫		10,661	78.8	99.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2016年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	4,202	78.2	75.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,473	85.4	92.9
	計 (輸入)	5,675 (373)	79.9 (150.4)	79.3 (170.3)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		20,788	89.0	85.3
需要計		26,463	86.9	83.9
在庫		12,608	101.9	113.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量